

アートドキュメント2025 | 受贈記念

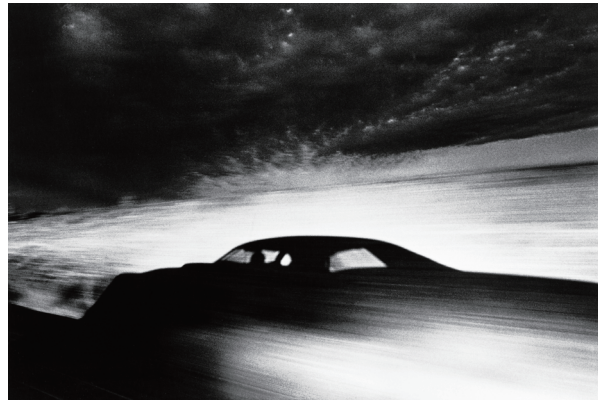
時空の旅

ならはら いっこう

奈良原一高の写真

1月17日[土]ー3月8日[日]まで

会 場 美術館 アートコア ミュージアム -1、ギャラリー
 時 間 10:00～17:00（最終入場 16:30）
 休館日 月曜休館（祝日開館、翌平日休館）
 観覧料 一般 :600 円 (400 円)、65 歳以上・障がい者 300 円
 高校生以下・障がい者の介護者
 （当該障がい者 1 人につき 1 人）無料
 （ ）内は 20 人以上の団体料金



《砂漠の中を走る車の影〈消滅した時間〉より》1971 年
 ©Narahara Ikko Archives

関連企画 あわら市民大学講座 「時空の旅 奈良原一高の写真」

西洋近代美術史・写真史研究。奈良原一高の研究・展覧会企画に長年携わってきた第一人者・蔦谷典子（つたたにのりこ）氏が奈良原一高の写真の魅力を解説します。

日 時＝1 月 18 日（日）13：30～15：00
 会 場＝美術館アートコア ミュージアム -2
 講 師＝蔦谷 典子氏（前・島根県立美術館学芸課長）
 定 員＝50 人（先着申込順）
 料 金＝無料
 申 込＝二次元コード、または電話 73-7800
 からお申込みください。

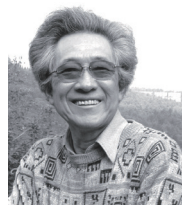


お申込みはこちら

奈良原 一高 Ikko Narahara

1931（昭和 6）年～2020（令和 2）年

福岡県に生まれる。1956 年、初個展「人間の土地」により、戦後日本の写真表現を塗り替えるほどの衝撃を与えた。この個展を契機として新鋭の写真家たちが集い、写真のセルフ・エージェンシー「VIVO」を結成していく。第 2 回個展「王国」で日本写真家協会新人賞を受賞。その後、ヨーロッパ、アメリカと自らの身を置く場を移しながら、写真集『ヨーロッパ・静止した時間』、『消滅した時間』など人間の創り上げた文明の光景を映し出す珠玉の作品群を生み出していった。日本を代表する写真家であるとともに、国際的にも高い評価を受けている。



奈良原一高
 山中湖にて 1999 年 1 月
 © Keiko Narahara



掲載作品は、奈良原一高作
 ©Narahara Ikko Archives
 本紙のスキャン、デジタル化など、
 無断複写は著作権法の例外を除き、
 禁止されています。

ガラス工房 干支絵付け体験

2026 年の干支「午」をモチーフにした工房スタッフ手作りのガラスのオブジェに色鉛筆やマーカー、絵の具などで色付けします。《数量限定・要予約》

日 時 1 月末までの開館日 10:00～12:00 / 13:00～15:00 / 15:00～17:00
 定 員 各時間帯 1 人～10 人程度（10 人以上の団体も受付可）
 受 講 料 2,300 円（1 作品・材料費・税込）
 作品受渡 当日お持ち帰りできます。

【予約・問合せ】ガラス工房 TEL.0776-73-7801

冬季限定



ガラスの干支（イメージ）

●（公財）金津創作の森財団 事務局 TEL.73-7800 休館日 / 月曜日（祝日の場合開館、翌平日休館）
 ●森のキッチン 定休日 / 月・火曜日（祝日の場合営業、翌平日休業）、冬期休業（12/17（水）～R8.1/16（金））



子どもたちから感謝の歌と花束

◆11月11日（火）市役所



安全・安心な給食の現場を見学！

◆11月14日（金）学校給食センター



「学校給食レストラン」が開催され、市民 18 人が参加しました。参加者は、調理の様子を見学窓や動画で確認し、食育の取り組みについて説明を受けました。試食では、あわら市産いちほまれを使ったごはんや、福井県産食材をふんだんに取り入れた献立を味わい、「安全・安心でおいしい給食」を体験しました。

給食センターでは今後も食育を通じて、地域と学校をつなぐ取り組みを続けていきます。

東日本大会金賞 仲間と奏でた青春の音

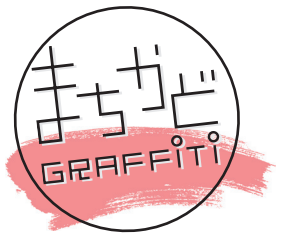
◆11月25日（火）市役所



三国高等学校吹奏楽部が、山形県で開催された「第 25 回東日本学校吹奏楽大会」において、金賞を受賞し、森市長を表敬訪問しました。

この日、あわら市在住のトロンボーン担当 3 年・堀井桃寧さんと、フルート担当 2 年・深崎唯那さんが出席し、大会の報告を行いました。堀井さんは「3 年間で一番楽しい演奏でした。宝物になりました。」と笑顔で語ってくれました。

まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします！



いちひめこども園の 3 歳児の皆さんが、子育て支援課を訪れ、歌と花束のプレゼントを届けてくれました。

勤労感謝の日にちなみ、子どもたちの暮らす地域で働く人々に感謝を伝える恒例行事で、普段訪れることのない市役所に入ると少し緊張した様子でしたが、合唱曲「どんぐりころころ」と「きくのはな」を元気いっぱいに披露し、職員一同、笑顔と癒しに包まれました。

共助で守る命 避難所設営を体験

◆11月16日（日）細呂木小学校



あわら市総合防災訓練が行われ、市内全域で住民避難訓練を行った後、細呂木地区住民を対象に、避難所設営訓練を実施しました。段ボールベッドの組み立てや簡易トイレの使い方など、実際の避難所設営を体験しました。

また、あわら市赤十字奉仕団による炊き出し訓練や福井県のトイレトラックなど、防災関係機関の展示ブースも並び、今回の訓練を通じて、各機関との連携強化と市民の防災意識向上を図ることができました。

芦原小、花壇づくりで内閣総理大臣賞

◆11月29日（土）福井県国際交流会館



芦原小学校の児童による花壇づくりの取り組みが、「第 62 回フラワー・ブラボー・コンクール」で最高位となる内閣総理大臣賞を受賞し、表彰式が行われました。このコンクールは、花壇づくりを通じて自然を愛する心を育むことを目的としています。

芦原小学校では、実行委員会から配布された花の種を、フラワー委員会の児童が協力して育て、工夫を凝らして色とりどりの美しい花壇を作り上げました。こうした活動が高く評価され、今回の受賞につながりました。